

開校50周年記念のまとめの時期です

橙色に染まる稜線から初日を拝むことができ、温かな日和のお正月を迎えました。皆様方におかれましては、ご家族とともに和やかな正月をお過ごしのこととお喜び申し上げます。

本年度は花園小学校開校50周年です。授業参観・運動会・祖父母学級という行事には「開校50周年記念」という冠を付け、例年と少し趣を変えた内容を取り入れてみました。また、保護者・祖父母・地域の方々とともに全員写真を撮ることができました。

さらには、保護者・地域の方々の『TEAM花園』（学校運営支援協議会）により、樹木の伐採・ベランダ手すりのペンキ塗り・九九ボランティア・校外学習の引率・読み聞かせ・登下校の見守り等、環境整備・学習支援・生活安全を中心に、子どもたちのためにたくさんの活動をしていただきました。ありがとうございました。

花園小学校は、地域の皆様の学校に対する篤い思いをいただいています。本年も『TEAM花園』のお力を借り、教職員一同『チーム花園』で「笑顔あふれる学校」づくりに取り組みます。その願いを込め、7日の始業式で次のようなことを子どもたちに話しました。

今のクラスで過ごす最後の学期が始まります。3学期は、その学年のまとめとともに、次の学年に向けて準備の期間、力を蓄える期間でもあります。そういうことから、3学期は次の2つのことを頑張りましょう。

1つ目。3月の卒業式・修了式には、クラス全員が胸を張って「クラスのここすご」をいくつも言えるクラスにしましょう。

そのためにも、授業、掃除、係や給食当番などの日常の活動や、「花小あいうえお」など、しっかり取り組んでいきましょう。

2つ目。次の学年でどんなことを頑張るのかを決めるために、「自分のここすご」だけでなく、他の人のまねや参考にしたいと思う「仲間のここすご」を見つけましょう。

この「仲間のここすご」について、ある6年生の男子が中日新聞に投書した文章がありましたので紹介します。

「もう忘れ物はしないぞ」 <中日新聞2018.5.9『発言』より>

僕は去年、忘れ物をたくさんしました。小学校6年生になったので、「今年こそは忘れ物をしない」と思っています。そこで去年忘れ物をしなかった友達の何人かに、どうしたら忘れ物をしなくなるのかを聞いてみました。

ある友達は、家でランドセルの中の教科書を1回全部出して、各教科に分けてから順番に入っていました。出すときも一気に出せるので楽だと言っていました。

別の友達は、ランドセルに教科書やノートを入れるとき、連絡（予定）帳に入れたものを赤鉛筆

で○を付け、翌日の予定を声に出して確認していました。

みんなはいろいろと忘れ物をしないように工夫しているんだなと思いました。

僕はこれからしばらくの間、1時間目から順番に（学校の1限ずつ）赤丸を連絡（予定）帳に付けながらランドセルに必要な教科書やノート、ドリルを入れる方法に取り組もうと考えています。

そうして僕は自分なりの工夫を見つけて、忘れ物がないようにします。

※一部藤堂が手を加えた。（ ）内の言葉が原文

自分のいいところはどんどん伸ばしたいですね。直した方がいいと思ったことは、紹介した男子のように、人の姿から学んだことを基に、どうしたらいいか考え、自分で決めてやってみることが大切です。3学期もがんばりましょう。

本年も、ご家族・地域・関係機関等の皆様にとってよき一年となることを祈念するとともに、皆様の本校へのお力添えをよろしくお願いします。

半田市立花園小学校長 藤堂正喜